

いのちの浄土 中村薫遺稿集

真宗

なかむら かおる

中村薫著

▼四六判・並製カバー・192頁・定価一、四三〇円

2021年5月刊行



一五〇日間の入院という大病を経て見出した境地、「生かされて生きる身の幸せ」を語る。
亡くなる前年までの講演四篇を収めた遺稿集。

【目次】

中村薫君を偲ぶ……近藤 章(真宗大谷派西心寺前任住職)
弟中村薫さんを偲ぶ……伊奈祐諦

おもひで その三……市野智行

金子みすゞとお念仏

(真宗大谷派安樂寺前任住職)

金子みすゞをご存知ですか？／金子みすゞの生涯／われわれの悩みの根源／いのちの目線／あわれ、生き物は互いに食み合う／集団的自衛権の先にあるもの／生きていく責任／真宗門徒 金子みすゞ／わたしに出会っていく教え

生老病死

「生・老・病・死」は逃れられない／だれも選んで生まれてこられない／生と死は一つ／「忘れたものではありませんが。思い出せないのです」／一人生まれて、一人去っていく／人間とは不自由なもの／如来他力回向の念仏／法蔵菩薩の誕生／凡夫に帰る／物がいくらでもある時代を生きる苦しみ／おわりに

おもひで その四……中村 亮

あとがき……中村 亮

『華嚴経』と『大無量寿経』

出会いとは出会い続けること／『大無量寿経』の翻訳者／『華嚴経』の翻訳者／現存する五つの『無量寿経』／菩提心一仏に成る道を学ぶ／『華嚴経』と『大無量寿経』を翻訳したのは同じ人物？／『教行信証』における『涅槃経』と『華嚴経』の連引の意義／すべての人が救われるとは「わたし一人」のため／質疑応答

おもひで その二……藤村 潔

如来の作願をたずぬれば
このわたしを捨てない／百五十日間の入院／仏教は毛穴から入る／出家と家出／身と心／如来と我／人間に生まれた／苦悩の有情／王舎城の悲劇／韋提希の苦悩と愚痴の言葉／阿闍世の救済／身をまかせ／弘誓の仏地に樹つ／生かされて「ある」

◆著者略歴

一九四八年愛知県に生まれる。大谷大学文学部仏教学科(華嚴学)卒業。同大学院人文科学研究科博士課程仏教専攻修了。同朋大学文学部仏教文化学科教授、同大学院教授、同大学学長を歴任。同朋大学名誉教授。博士(文学)。真宗大谷派副講。真宗大谷派養蓮寺前任住職。二〇二〇年五月八日逝去。
著書に、『ひとくち法話 知っておきたい言葉たち』『ひとくち法話 いま伝えたい言葉』『楊仁山の「日本浄土教」批判』『日中浄土教論争』『中国華嚴浄土思想の研究』『正信閣62講』『華嚴の浄土』『親鸞の華嚴』『いのちの根源』『中村薫講話集』(以上法蔵館)。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
中村 薫著	法蔵館
定価一、四三〇円	住所
いのちの浄土	お電話
中村薫遺稿集	お名前
ISBN:978-4-8318-8789-4 C0015	

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp